

全国の中から高森町内小・中学校4校が選ばれました

タブレットパソコン（児童・生徒が使うパソコン） 120台を無償で貸与 約1,500万円分（1台約9万円） の無償貸与を受け研究するものです



高森町内の小・中学校4校が「DISスクールイノベーションプロジェクト」の実証研究校に決定し、2月22日には高森中央小学校で「事業開始式」が行われました。

この事業は、ダイワボウ情報システムを中心とする企業体からタブレットパソコン120台をはじめ、様々なICT機器やソフトウェアを無償貸与いただきICT活用実証研究を約2年間行うもので、全国の実証研究校の内、4校が高森町の小・中学校となりました。

すでに導入している電子黒板と連携し、子どもたちの考えをタブレットパソコンから電子黒板に画面転送することも可能になります。より双方向的な活用を行い、学力向上へとつなげる実証研究を行います。



▲事業開始式で握手を交わす、ダイワボウ情報システム(株) 安永専務取締役（左）と草村町長（右）



▲すでに導入している電子黒板と今回無償貸与されたタブレットパソコンを使用した授業の様子

※1 ICT（アイシーティー）
（Information and Communication Technology）
＝ パソコン等の情報通信技術の総称

※3 タブレットパソコンとは…
小型で薄く持ち運びが可能なパソコン。
今回提供されるパソコンは、キーボード
入力とタッチペン入力ができます。

※2 スクールイノベーションプロジェクト
（School Innovation Project）
＝ 普通教室におけるICT活用実証研究

※4 タブレットパソコン数（120台）

高森東小学校	20台
高森中央小学校	40台
高森東中学校	20台
高森中学校	40台